

(平成29年6月作成)

事務事業評価シート

(H.29)No.	1118	(H.28)No.	1118
-----------	------	-----------	------

事務事業名	交通安全対策事業		
担当部局名	都市整備部	担当室名	都市計画室
		室長名	田中 康生

会計区分	事業コード	382501
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 土木費	交通安全対策事業	
項 土木管理費	(小事業名)	
目 交通対策費	交通安全対策事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	2 美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち
	基本施策	3 安全で安心なまちづくり
	施 策	2 防犯・交通安全
重点プロジェクト		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
交通安全に係る啓発活動の継続的な実施や、参加・体験型研修の推進等により、市民の交通安全意識の向上、交通事故防止の徹底を図ります。
事業内容
季別ごとに実施される交通安全運動における啓発活動や、保護者会等を対象とした交通安全研修会、及び生活安全推進協議会交通安全部会活動に取り組めます。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.28年度(事業量・取組実績)	H.29年度(事業量・取組計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	- 交通安全教育DVD購入費 - 交通安全啓発用物品等購入費 - 交通安全部会活動装備更新費用	- 交通安全教育DVD購入費 - 交通安全啓発用物品購入費 - 交通安全部会活動装備更新費用	- 交通安全教育DVD購入費 - 交通安全啓発用物品購入費 - 交通安全部会活動装備更新費用	- 交通安全教育DVD購入費 - 交通安全啓発用物品購入費 - 交通安全部会活動装備更新費用	- 交通安全教育DVD購入費 - 交通安全啓発用物品購入費 - 交通安全部会活動装備更新費用

	H.28年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)		H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)
	H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分			
①直接事業費		351千円		360千円	360千円	360千円	360千円
内訳(千円)							
国・県支出金							
地方債							
その他(繰入金)		194		10			
一般財源	0	157	0	350	360	360	360
人工数							
職員		0.30人		0.45人	0.45人	0.45人	0.45人
臨時職員等							
②概算人件費	0千円	2,250千円	0千円	3,375千円	3,375千円	3,375千円	3,375千円
①+②総事業費	0千円	2,601千円	0千円	3,735千円	3,735千円	3,735千円	3,735千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
生活安全推進協議会交通安全部会の活動として、児童の通学路において街頭指導を実施するとともに、新学期当初に中学校における自転車の安全利用に関する講習会を開催するなど、通学路における交通安全対策に取り組んできた。一方、交通安全部会の役員から、三重県の事業である交通安全シルバーリーダーに参加し、高齢者の特性や高齢者に対する交通安全対策の研修等を受講することにより、地域の高齢者に対する交通安全啓発活動も実施いただいています。また、各季の交通安全運動や大型小売店舗における街頭啓発、交通安全フェスタ等のイベントを実施することにより市民に対する啓発を実施してきましたが、昨今の高齢運転者による交通事故が多発している状況を受け、地域の高齢者に対する安全運転講習や運転免許返納の促進等について、関係機関と連携してより積極的な取組を推進していく必要がある。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】	継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(拡大)
-------	---	--------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)
交通事故のない安全で安心なまちを目指して、通学路における児童の交通安全対策とともに高齢者に対する安全運転講習及び運転免許証返納促進の取組を推進します。交通事故防止を徹底するためには、引き続き啓発活動を推進し、市民に交通安全思想の普及・浸透を図る必要があります。今後も交通安全部会委員を中心に警察や交通関係団体等と連携して、積極的な取組を推進していきます。

6. 事務事業の取組に係る市の計画

--